

土地利用の考え方

1. 都市構造
2. 土地利用

北小4年 吉井 莉恵さん



1 都市構造

①拠点の設定

中心拠点と地域拠点を設定し、これら相互を連絡する交通・情報ネットワークの構築によって、各地域間の連携を強化します。

【中心拠点】

中心拠点は、本市全体の中心として、また、県北地域の拠点として、地域連携・交流を支えるとともに、都市機能を市全体かつ広域的に提供することのできる機能を備えています。

【地域拠点】

地域拠点は、地域生活機能が集約し、中心拠点を補完しながら各種サービスを提供する機能を備えています。

②都市軸の設定

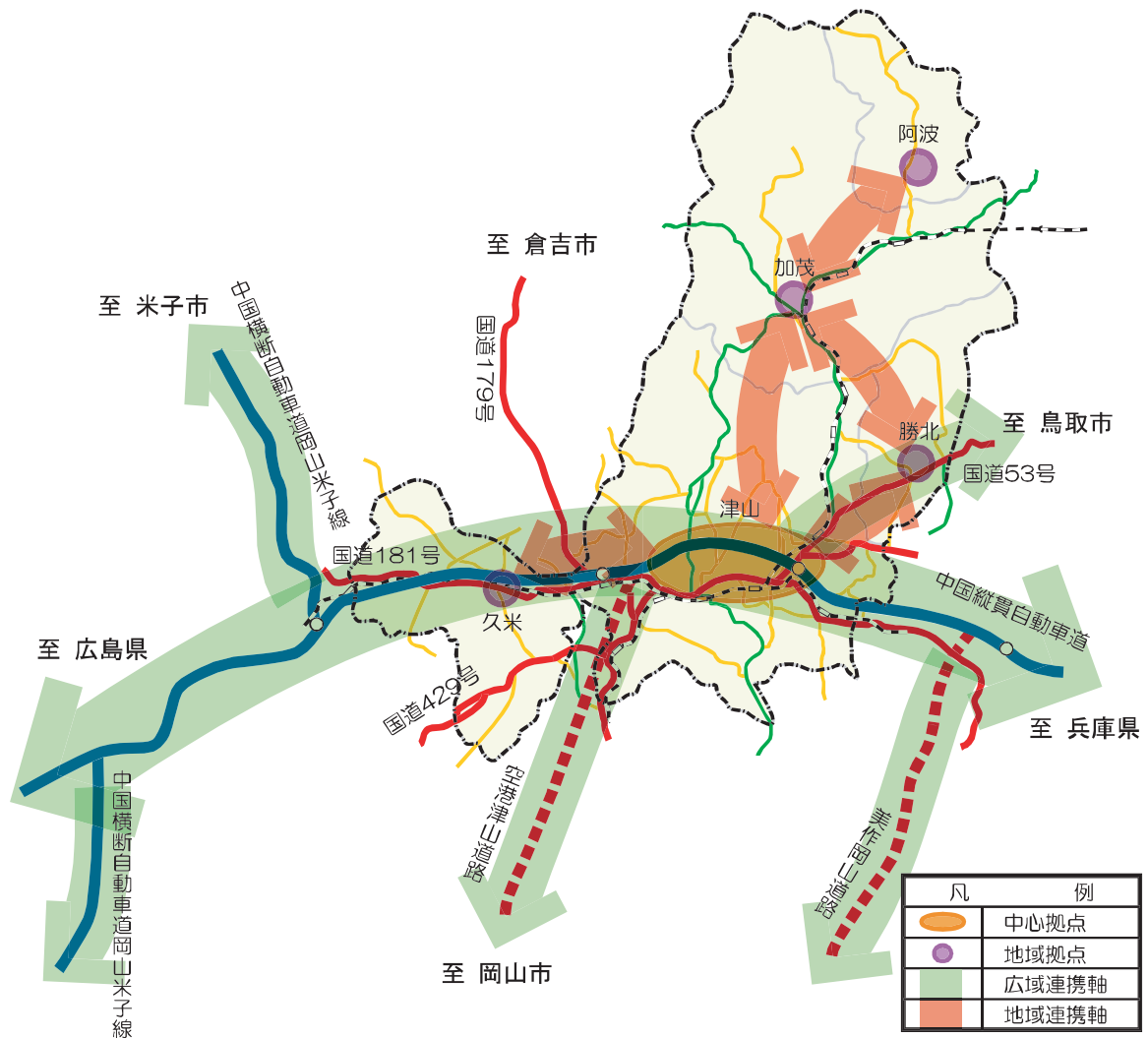
交通施設や情報網に沿って、地域や周辺市町村を連絡する都市軸を設定します。

【広域連携軸】

広域連携軸として、中国縦貫自動車道、中国横断自動車道岡山米子線、地域高規格道路空港津山道路・美作岡山道路、国道53号及び岡山情報ハイウェイを中心とした情報通信ネットワークを設定します。

【地域連携軸】

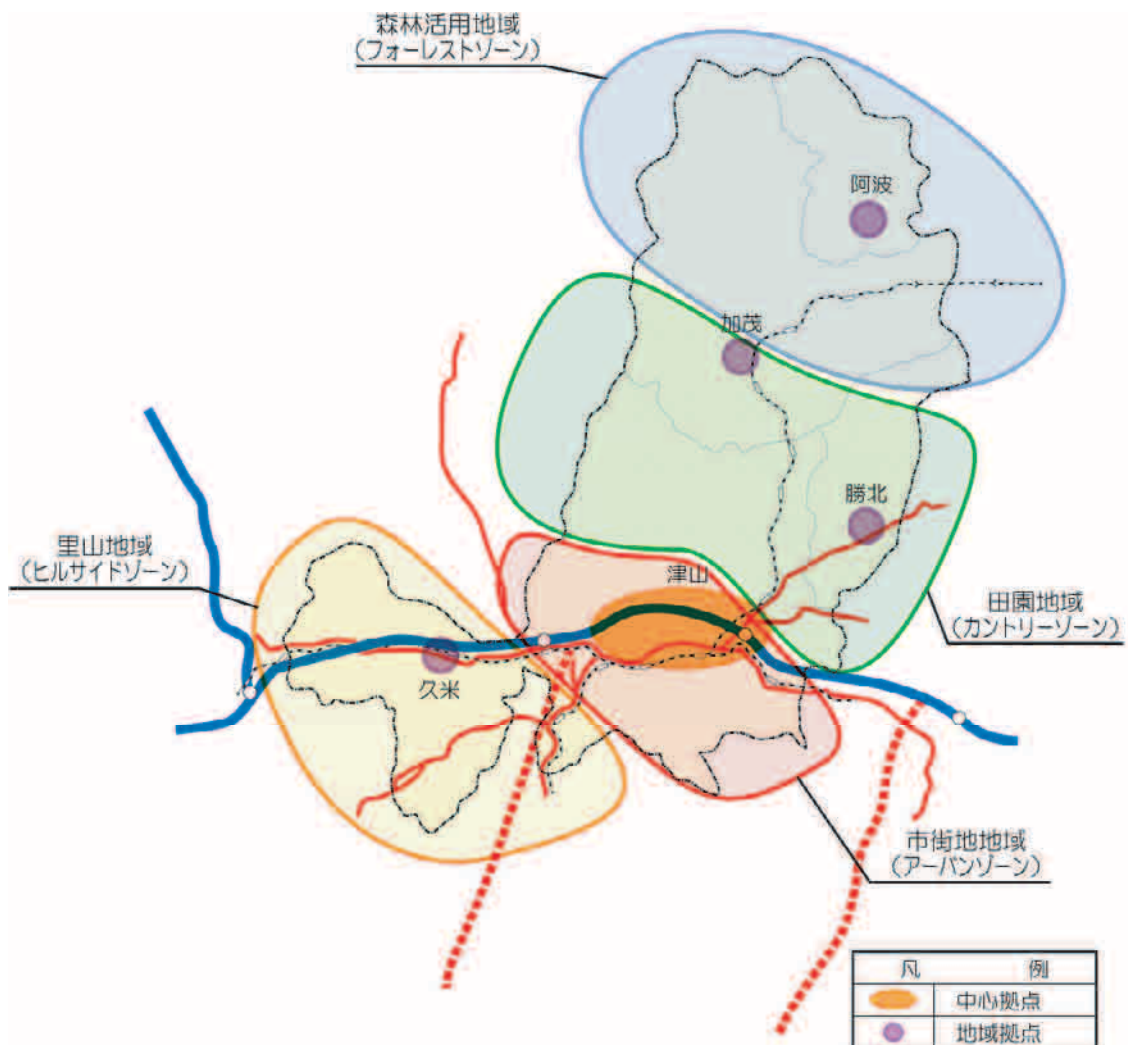
地域連携軸として、国道53号・179号・181号・429号、主要地方道津山智頭八東線、一般県道加茂用瀬線、JR津山線・因美線・姫新線及びCATVネットワークを中心とした情報通信ネットワークを設定します。



2 土地利用

土地は限られた資源で、市民の生活や生産活動の共通の基盤となるものであり、自然的・社会的・経済的・文化的条件を配慮したゾーン（地域）設定をし、良好な生活環境を確保しつつ、全体の均衡ある発展と都市機能の効果的な発揮ができるよう、それぞれの地域特性を活かした土地利用を推進します。

- 森林活用地域（フォーレストゾーン）
- 田園地域（カントリーゾーン）
- 市街地地域（アーバンゾーン）
- 里山地域（ヒルサイドゾーン）





北小4年 原田 優香理さん

